

第1回作業部会における議論の主要ポイント

No.	観点	基本的な方針	指摘された課題
A-1	ガイドライン全体	事業者に価値を付加できる認証・登録制度を目指す	
A-2		環境に関する取組の推進だけでなく、経営に対する有効性の向上（環境経営の推進）もねらう	
A-3		公害対応（法令順守）から、環境側面からの経営力向上ツールへの転換	「環境側面からの経営力向上ツール」をどこに組み込むのか？
A-4		審査の価値を向上させることで、エコアクション21の価値を向上させる	
B-1	新第1章	リスク・チャンス、環境経営、経営に対する有効性に関する記述を盛り込む	
C-1	ガイドライン外	審査人が審査時に使用するチェックリストを抜本的に改訂する	
C-2		環境への負荷の自己チェックシートには、例えば資源効率性等を盛り込むなどし、経営上のバランスシートとして捉える	
D-1	要求事項： 「実施体制の構築」	既存の資料等（例：組織図）の活用を促す	
D-2		固有名詞（例：EA21推進組織図）の使用は避ける	
D-3		簡易な表現に改める	
D-4		解釈部分には、要求事項に出てくる用語の定義・解釈を記載する（例：「効果的とは…」）	
D-5		主語を明記し、主体を明確化する	